

【特集】地球温暖化

豊かな自然を、未来へつなぐ

近年、大雨や真夏日が続くなど、本市でも大きな変化が起きており、その背景には、地球温暖化による影響があると指摘されています。美しい河川や田園風景が広がる菊池市。この豊かな自然を守り、次の世代へつないでいくために、私たちには何ができるのでしょうか。異常気象が頻発する今、地球温暖化について一緒に考えてみませんか。

【問い合わせ先】環境課 ☎0968(25)7217

今ある自然は
当たり前ものじゃない

「冷たくて気持ちいい〜！」
「あ、何か動いたよ！」

泗水東小学校では毎年、4年生が環境学習をしています。今年も合志川支流（通称・ホタル川）で川の水質と生き物の関係について学びました。「自ら考え、体験すること」が子どもたちの理解につながります。今ある自然は当たり前のものでないことに児童も気付いてくれました」と話すのは4年1組の担任を務める木下倫太郎（きしたのりたろう）教諭。「環境学習を通して水の大切さを知り、自然を守るために自分たちに何ができるかを調べ、考えてほしい」と続けます。環境学習当日は、10月にも関わらず最高気温が33・1度と真夏日を記録。同小では児童に水筒や帽子の持参を呼び掛けています。「昔はホタル



河川の水質や生物調査をする児童たち。市内では各地の小学校で環境学習が行われています（平成29年撮影）

世界で研究が進む 地球温暖化

全国各地でみられる気温上昇や降水量の増加などの異常気象。地球温暖化は、これらの原因の一つと考えられています。

大雨被害や真夏日の増加
が見られる菊池市

視野を広げ
行動に移すことが重要

市では平成24年7月豪雨や令和2年7月豪雨などで被害が出ています。背景には温暖化の影響が考えられ、令和2年7月豪雨でも気象庁が温暖化の影響に触れています。

熊本県立大学で地域情報学を教える岩見麻子講師は、大雨や気温の上昇には地球温暖化が影響していると指摘。二酸化炭素をはじめとした温室効果ガスが増えすぎたことが原因と説明します。

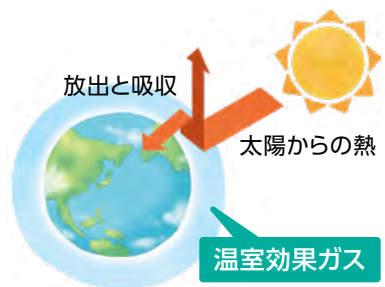
最高気温が30度を超える真夏日も増加。観測方法の変化により単純比較はできませんが、30度を超える日は40年前と比べて約30日増えています（気象庁HPから日数を計算）。40年前には9月中旬に30度を下回っていた気温が、今では10月に入っても30度を超える日が続きました。本市でも大きな変化が起きています。



熊本県立大学
岩見麻子講師

「今年8月に出された「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）」の第6次評価報

告書でも、人間がこれまでに大量の温室効果ガスを排出してきたことが気候変動の原因と断言しています。今後とも気温が上がるという予測が出ており、このままでは台風の強大化や大雨の長期化が進む恐れがあります」と岩見さんは警鐘を鳴らします。今すぐ温室効果ガスの排出量を0にしても、すでに排出されたガスの影響で数年は気温が上昇します。だからこそ、今すぐにもできる取り組みを進める必要があると力を込めます。「一人一人が視野を広げ、行動に移してほしいですね。各地でも温暖化防止のための啓発活動が進んでいますよ」



太陽からの熱を吸収する性質のある温室効果ガス。ガスの量が増えすぎると、地球の気温が上昇します

川にもっとホタルが飛んでいました。10月もこんなに暑くなかった。自然環境が変わってきていますね」と話す木下教諭。学習の中で、地球温暖化という言葉が出てきているといいます。

「児童とインターネットを使った調べ学習も進めています。子どもたちと共に、今からできることを考えなければいけませんね」



真剣な表情で説明を聞く泗水東小学校の児童たち。検査キットを使い、ホタル川の水質を調査後、川に入り小さな魚やカニを捕まえていました

地球温暖化対策 シンポジウム

11月19日(金) 午後2時～4時

熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画の着実な推進に向けたキックオフイベントとして開催。基調講演やパネルディスカッションなどが予定されています。

脱炭素社会の実現に向け、行政・事業者・住民が取り組むべきことについて一緒に考えてみませんか。

ところ 市民会館シアーズホーム 夢ホール(熊本市市民会館)

対象者 熊本連携中枢都市圏内(本市含む)に在住、在勤、在学している人

テーマ 熊本から起こす、「脱炭素ドミノ」～2050年温室効果ガス排出量実質ゼロを目指して～

申込期限 11月15日(月) 午後5時

申込方法 氏名、住所、電話番号、FAX番号、メールアドレスおよび希望する参加方法(会場またはオンライン)を記載の上、FAXまたはメールで申し込んでください。

申込先 総合企画株式会社(業務受託業者)
☎096(346)1718
✉online@sohgo-k.co.jp

問い合わせ先
熊本市役所温暖化・エネルギー対策室
☎096(328)2355



←シンポジウムの詳細は市のホームページをご覧ください。

全国初! 広域での 温暖化対策

目指すは2050年温室効果ガス排出実質ゼロ。一人一人の行動を促すため、県や市では関係機関と協力し、温暖化対策を進めています。

県や市で「2050年排出実質ゼロ」を宣言
令和元年12月には県が「2050年熊本県内CO₂排出実質ゼロ」を宣言。本市でも、熊本市を中心とした18市町村による熊本連携中枢都市圏として令和2年1月に「2050年温室効果ガス排出実質ゼロ」を目指すこととし、令和3年3月には都市圏として全国初となる「熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画」を策定しました。

他にも、連携中枢都市圏の多くの人へ温暖化対策に関する情報を発信するニュースレター「COOL CHOICE ホットニュースくまもと」を令和3年8月に創刊。具体的な取り組みはこれからですが、温暖化対策は着実に進み始めています。
平成11年から続く推進員の啓発活動
県では「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、県内自治体から委員の推薦、公募を受け、地球温暖化防止活動推進員を平成11年から委嘱。県内各地で推進員を中心に地球温暖化防止に関する活動が進められています。菊池郡市でも推進員が独自に「菊池管内環境活動協議会」を設立。現在は10人の推進員が各地で啓発活動を行っています。菅原さんは協議会の事務局も兼任。各種プログラムを準備しています。出前講座の受講希望者は市環境課へ問い合わせてください。

Pickup 菊池管内環境活動協議会

菊池市・合志市・大津町・菊陽町の地球温暖化防止活動推進員とそのOBで構成。「ひとりの百歩より百人の一步!」の思いを抱き活動しています。身近な環境問題について、関連するモノづくりを通して学ぶ体験型の出前講座を実施。プログラム受講希望者や環境学習への協力、ボランティアも随時募集しています。

市では緒方朋子さん(写真⑥・袈裟尾)、菅原時男さん(写真④)、村上艶子さん(写真⑤・上水次)、渡邊万理子さん(高野瀬)の4人が推進員として活動中



花房小学校で環境学習を行う菅原さん。イラストや動画を使い、児童に分かりやすく説明しています

みんなが進める 地球温暖化対策

温暖化を防ぐには、仕組みを理解し、行動する人を増やすことが大切です。各地で進む啓発活動。温暖化の理解を深める取り組みが始まっています。

多くの人に地球温暖化について知ってほしい

「温室効果ガスがなかったら地球はマイナス19度くらい。ガスのおかげで平均気温は約14度に保たれています。温室効果ガスも、適度な量は必要なんです」

ある、ということを知らない人もいます。多くの人に現状を知ってもらいたい」と熱を込めます。

大切なことは
一人一人の行動の積み重ね

花房小学校の5年生に地球温暖化について話すのは、県の地球温暖化防止推進員である菅原時男さん(片角)。勤務する会社で環境に配慮した仕組みの導入に携わったことがきっかけで環境活動を始めました。各地で温暖化防止に関する活動を進めています。「気温の上昇や大雨など気候変動の原因が地球温暖化に

令和2年度版「熊本の環境」環境白書」によると、県内の温室効果ガス排出量のうち、家庭からの排出量は全体の16・4%に上ります。「自分にできることを考え、行動してほしい。でも、難しく考える必要はありません。普段していることが温暖化防止につながるかもしれません。一人一人ができることをやっていくことが大切なんです」

Interview 出前講座を聞いた花房小学校の5年生2人に感想を聞きました



つきあしこな 月足心奈さん

身近なことから取り組みます!

このまま地球温暖化が進むと、2100年には今よりも気温が上がり、これまでより大きな台風、豪雨になることが分かりました。節水や節電を心掛け、普段の生活の中でできることをしていきたいです。



かわぐちひのか 川口帆菜さん

電気を大切に使いたいです!

今までよく分かっていなかった地球温暖化について学ぶことができました。今の生活を少し見直して、嫌いな食べ物でもちゃんと食べて、電気の無駄遣いをしないようにしたいと思います。

家庭で 気軽にできる 温暖化対策

普段の生活をちょっと振り返ってみると、環境に配慮できる活動はたくさんあります。市民の皆さんに、どんな対策をしているのか聞いてみました。

栗の木を剪定したときに
出た木の枝を薪ストーブの
燃料として使っています

芹川修蔵さん(片川瀬)

エネルギーの地産地消
や化石燃料の不使用に
よるCO2削減につな
がります。

電気をこまめに
消しています。
また、ごみの分別を
徹底しています。

栗原桂子さん(加恵)

白熱電球では年間で電気
19.71kWh、約530円の
節約。CO2削減量は年
間11.2kgになります。ごみの
分別を徹底することでごみ
が減り、ごみ処理に関わる燃
料費の削減につながります。

洗濯は
お風呂の水を
使っています

前島都さん(三万田)

年間で水道33.5㎡、
約7,640円の節約。
CO2削減量は年
間6.8kgになります。



エコバックを
持参の人に、買い物で
使えるポイントを
進呈しています

道の駅泗水 養生市場
齊藤ゆかりマネージャー(富)

使い捨てプラスチックごみの
削減につながります。

間伐材の使用は カーボンニュートラルにつながる

植物由来の資源を燃やして二酸化炭素が
発生しても、植物が成長過程で二酸化炭素
を吸収するため、全体として大気中の二酸
化炭素を増加させず、排出量は実質ゼロに
なる、という考え方を「カーボンニュートラル」
といいます。間伐は植物の成長を促し、地
域の環境保全になります。

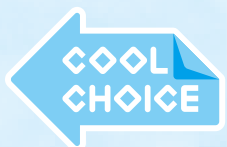
豊かな自然を次の世代へ

地球温暖化の影響は各地
で深刻化しています。この
まま何も対策をしなければ、
2100年には世界の気温が
最大で4・8度、海面は最大
で82センチ上昇すると予測され
ています。異常気象が増え、自
然や私たちの生活にも影響が
出る可能性があります。

IPCCの第6次評価報
告書では、温室効果ガスの
濃度を最も低く抑えても、
2100年に気温上昇を2度
未満に抑えることが限界と指
摘。温暖化への対策だけだ
なく、備えも同時に進めてい
かなければなりません。

大切なことは、現状を知り、
行動に移すこと。一人一人が
できることを始めることで、
私たちの生活を守ることにつ
ながります。菊池の豊かな自
然を次の世代へつなぐこと
になるのです。

今、自分には何ができるの
か。この機会に地球温暖化に
ついて考え、普段の行動を少
し振り返ってみませんか。



「COOL CHOICE」のロゴ
マーク



← 環境省の特設
サイトで具
体的な活動
を紹介して
います

「賢い選択」、
始めませんか？
環境省では、二酸化炭素な
どの温室効果ガスの排出量削
減のための取り組み「COO
L CHOICE」を始め
ました。脱炭素社会づくりに
貢献する「製品への買換え」、
「サービスの利用」「ライフス
タイルの選択」など地球温暖
化対策に資するあらゆる「賢
い選択」をしていこうとい
うものです。熊本連携中核都
市圏でも「COOL CHOICE」
の共同推進を計画の重
点的取組に掲げています。
エネルギーを節約したり、
食品ロスをなくしたりするな
ど、簡単に取り組めることば
かり。皆さんも、できること
を始めませんか。

20
度に設定するよう
心掛けています

堤理斗さん
(菊池南中学校3年生)

年間で電気53.08kWh、電気
代約1,430円の節約。CO2削
減量は年間30.3kgになります。

地産地消で二酸化炭素削減へ！

食料を運ぶとき、生産地からの距離が遠
いほど燃料や二酸化炭素の排出量が多くな
ります。食料の総重量と輸送距離を掛け合
わせたものを「フードマイレージ」といい、こ
の値が高いほど環境に大きな影響を与えます。
地域で生産したものを地域で消費する「地
産地消」を進めることで、環境負荷を減らし、
地域経済を活性化させることができます。